

全国農村サミット 2014in 静岡県下田市が開催

日本大学生物資源科学部が主催し、下田市が共催する全国農村サミット 2014in 静岡県下田市が9月3日に下田市市民文化会館で開かれました。

テーマは「伊豆における地域資源の活用と農林水産業の振興」です。水産業や農業の関係者による一次産業の生産を通しての伊豆地域の振興策などについて、講演やパネルディスカッションが行われました。

会場からは「伊豆地方の水産業の現状と課題」、「キンメダイ資源の現状と流通」について講演し、水産物は伊豆に人を呼ぶ重要な資源であることや、キンメダイの価値を高める取組みの重要性について発表しました。他にも、定置網漁業や農業振興、地域観光資源の展望について話題提供があり、一次産業の現状や課題が講演されました。パネルディスカッションでは、パネラーとして参加した若手漁業者が、出荷等の工夫を重ねて利益をあげていることなど、定置網漁業の現場で活躍している状況が紹介されました。



パネルディスカッションの様子

(青木一永)